

ほろのべ自律プラン策定住民会議だより

アンケート結果

11月から広報誌におり込みという形で、自律プランのアンケートを実施しました。先月号に続いて、今月号では12月と1月のアンケート結果をご紹介します。

皆さんからいただいた主なご意見

〔12月〕

- 生活に支障がなければ、無理に自立しなくても良い。
- 本心に自律できるのか。
- 議員や先立って自律を進めている人達は、自分のことを優先して考えているようにしか思えません。自律して行く為には、行政のスリム化をもっと考えるべき。議員定数は、特にそういうことを先延ばしではいかなもの？ダメです。
- 若い人の働く場所がない。

●知的・文化的な生涯学習が必要

●健康な高齢者に社会参加させる(ボランティア等)。

●近隣町村と同じ事でないことをする(幌延に來たらあるというもの)。

●経費削減には、福祉団体の補助減までも考えるべき。

●少子化問題を考えていかなければ、町は活気あふれるものにはならないと思う。子供が住みやすい町づくり、産んで安心して育てる事

〔1月〕

- 町民一人一人が、他の誰かに頼りがちになっ
- 自分も動くことと思っ
- ほしいのですが、何か行動を起こすのは難しいですね。
- 分担金、負担金の増額は、きびしいけれど町民の自律意識を高める
- と思います。
- 今まで通りのあり方は、方向は変わりませ
- ん。ダメもとでいろいろアイディアを取り入

●役場庁舎の有効利用。無駄が多いのでは。

●議会傍聴、夜間もあってもいいのでは。

●のできる環境、都会で行なわれているファミリーサポート制度をぜひ実施してほしいです。

●役場庁舎の有効利用。無駄が多いのでは。

●議会傍聴、夜間もあってもいいのでは。

●町民一人一人が、他の誰かに頼りがちになっ

●自分も動くことと思っ

●ほしいのですが、何か行動を起こすのは難しいですね。

●分担金、負担金の増額は、きびしいけれど町民の自律意識を高める

●と思います。

●れ、失敗を恐れず、継続して行く事で新しい方向が見えてくるのでは。

●地元でできるものは地元で行なってください。

●いかに自律のためと

●いっても、福祉・教育・医療など、町民の大切な面での経費削減はやめてください。

●町長をはじめとする職員の方の給料減額。

●国からの補助が減るばかりの将来に対し、町

●財政を維持していくには歳入の縮減はもちろんだが、歳入増を何とか新しいことで探すほか

●ないと思う。(企業誘致・観光ビジネス強化・地元産業の活性化など)

●町職員と町議会議員が多いように思います。

●少なからずとも自律を支援した人は、耐乏的な町政の執行に耐える

●こと、がまんすること、自分でやることも、行政への参加ではないか。

●自律とは、自分で出来ることは自分たちですること。

●議員定数削減なくして自律なし。また、議員給与改革を。

「協力あつがう」がうまくなりました

12月と1月のアンケートには、それぞれ12月が17人、1月が途中までですが10人の方から回答が寄せられました。